京城新報

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙（▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢）
廣告料金（▲五號活字十七字詰一行一回金十錢▲業報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十錢）
發行兼編輯人　高木久馬
印刷人　松久神一郎
京城西壽西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

特別廣告

一裝飾品函　壹個
但裝飾針五個、留針若干及ボタン在中
右は**紛失**若くは**盜難**に罹り候に付物品を個人或は商店へ**賣却**の儀御拒絶せらるる御方は**京城新報社**へ御知らせ被下候へば謝礼として御存じ相成度かなぞの問は敎へ**金拾圓**差上可申候
尤も御知らせ被下候御方に向ひ如何にして御存じ相成度かなぞの問は敎へ不申候
南大門外　エッチ、ザー、アンダウード

寄書

怯懦なる飼主

旭川

日韓人間の係爭樞を目して多く其の原因は排日にありとなすは非也。甚だしきは漁民の爭鬪にても電車中での紛爭にても、苟も韓人多數にして少數の日人を毆ひ、日人の之に敗れ傷くものあるや毫も衝突の原因を究むることなく直ちに「韓人日人を傷く彼れ等は耶蘇教徒にして歐米崇拜者也。由來此の地方は排日熱盛んなるに加ふるに日人を目する異教徒を以てせるものゝ如く嗾嗾教唆するあり」なんど喧傳せらる、而して他人の病氣を病氣と報導してさへも甚だしく干渉がましき事を爲す迄に神經過敏なる統監府は此の不穩なる文字に對して一も注意を拂へるを見ず、ノホホンとして思ひ此所に至らざるが爲めたるに相違なからん也、此れ予の一言なかるべからざる所以也。

犬や。日人の飼主たる日人自らの決して口にする言語及び筆にする文字にあらずや。今、日人馴れて電せる韓人誤ちを解して誣かならざる韓民を見、一も二もなく其の原因を排日にありとなす、怯懦なる此の犬の飼主に似たらずや。第三者を以て之れを見る、日人は蛮に自ら韓人を導くの資格なきを知悉せるもの、とも見らるべし、韓國には排日熱熾烈にして云々とは即ち第三者の或る爲めにする所あるものゝ云ふことにして韓牧民者たる日人自らの決して口にする言語及び筆にする文字にあらずや。況んや其の形式は見に角事實に於て今や殆んど日韓一家たり此の間何んの排日かあればひや、然るに種々なる大道具小道具……基督教や牧師や儒生……を引き合ひに出し無理に排日劇を脚色して得たりとなせるが如し。蹴樂も事に寄りけり也。心すべき事にあらずや。敢て言ふ十八日稿）

犬や。此所に犬を畜へる人あり、犬や尾を踏まるゝか若しくは其の他の事に依りて一時其の主に咆哮することあるべし、然るに主人怯懦にして之を以て直ちに怯主とし、白眼疾視或は眼を加へ、若しくは食餌を與へざらしめ、久しからずして彼れは其の主を去らん也。人に比ふるに、犬を以てせざらざる節なきに非ざるべきも、生物敎養の妙用機微は決して人と犬とに依りて違ふ所なし。眞に斯くの如く怯懦ならば彼れは實に犬を畜ふの資格を缺ぐものと云ふべきに非ず。今、日人馴れて電せる韓人誤ちを解して誣かならざる韓民を見、一も二もなく其の原因を排日にありとなす、怯懦なる此の犬の飼主に似たらずや。第三者を以て之れを見る、日人は蛮に自ら韓人を導くの資格なきを知悉せるもの、とも見らるべし、韓國には排日熱熾烈にして云々とは即ち第三者の或る爲めにする所あるものゝ云ふことにして韓牧民者たる日人自らの決して口にする言語及び筆にする文字にあらずや。況んや其の形式は見に角事實に於て今や殆んど日韓一家たり此の間何んの排日かあればひや、然るに種々なる大道具小道具……基督教や牧師や儒生……を引き合ひに出し無理に排日劇を脚色して得たりとなせるが如し。蹴樂も事に寄りけり也。心すべき事にあらずや。敢て言ふ十八日稿）

雜報

仁川大火に就て（上）

（宮館警視談）

新町及濱町に於ける今回の火災は實に去る明治四十年來の大火災で三十萬以上の財産は爲めに烏有に歸したるのみならず人の意氣を沮喪せしめ地方の繁榮上無形的に間接の損害を與へたることも亦少なからずと思ふのである、それに就ても對火災戰鬪準備の整頓と云ふことは極めて必要の問題であることは言ふ迄もなく個人、公共、兩方面に渉りて防火設備の一日も早く完備せんことを渴望して止まぬのである、今回の火災も若し昨年貯水池及び蒸氣ポンプの設備せられたる以前に起りたりとせば恐らくは明治四十年の慘害以上であつたろうと思ふ、災害の起つた後より考へて見ると設備費や維持費の如きは極めて廉價で多少の無理算段をしても算盤上損にはならぬのである、公共的設備に關しては昨年當地の消防設備一部（水池及び其他の設備にして今回の火災に一方なるも効果を奏せしめたり）の設計に任せられたる警視廳の小熊警部の今正に滞在調査中であるから成案の上は來仁を乞ひ理事官民團長とも熟議の上早晩多少の改善を施す筈である、尤も水道消火栓も本年九月上旬には開通なく使用し得るとの事であるから大製糸の設備は逆當り必要はないのであるが應急の施設改善を加へるとしても消防費に對する市民の加重負擔は免れぬと思ふ、釜山では水道消火栓もあるが常設備の制度を採り其經費は一萬圓以上を支出して居る、又今回の火災は都合三回共韓人新炭商の温突から發火し商賣物の松葉に燃移つたので孰れも失火である、元來新町の如き日本人市街の中央に何等防火設備なき韓人新炭商を無制限に營業せしむるとは單に日人のみならず韓人に於ても苦情のある問題で今後は他に適當地を撰して新炭の置場を造らしむるか又は適當の防火設備を命ずる積りである。

個人及公共の火防設備の改善に付ては上述の如く目下多忙中に屬するとで あるから暫く之を措き火災現場に於て吾々の屢々目擊しつゝある事柄に付少しく自分は思ふところを述べ反省を求めたいと想ふ。

公德と云ふことは火災の如き公共患害の急迫且激甚なる際に於て最も明白に現はるゝのである、特に我仁川の如きは歐米人も清國人も澤山在住して火災の際などは邦人の一擧一動を仔細に注視して居るのであるから大にしては公德に關する國民的性格を疑はるゝと云ふことになるのである、廣義の公德心は姑らく措き玆に言ふ火事場公德と云ふのは要するに火災に罹り又は火のために脅かされつゝあるものに對して衷心同情の念を以て待つと云ふことに歸着するのである、火災は言ふ迄もなく公共の患害中至慘なるものである、阿鼻叫喚の巷に駈け迷ひつゝある不幸の人々を見ては誰しも同情の念に堪へぬ之は元より人情ではあるが、火事場に於ける見物人の態度は稍もすれば敬度を缺いて居る樣に見ゆる、元來人の不幸を見物するとは云ふことは第一宜しくない、尤も見物人彌次馬の中には其附近に自己の家作又は親類などがあつて心配の餘り形勢を窺ひに來て居るものもあろう、なれども中には眞の彌次馬で卷煙草を吹へ太甚しき は肚快だなどと云ふて宛然演劇見物でもする風で見物して居る、恐らくは堪等の心中では まさか物見遊山でもなかろうが兎に角堪等の態度は殆る場合に適應しき敬度とか同情とか云ふ表情の態度ではないと思ふ（未完）

蔚山沿岸の住民

國有漁業調査の爲め、蔚山地方に出張されし湯浅主事の談に曰く「最初慶尚北道迎日郡浦項、青河與海等の喜岩を調べ再び浦項に歸り蔚山沿岸を視察せしが沈石に國有漁業とせられる丈け他に比較して發育良好なる上斉河、黃海は其の主要地にて沿岸の狀態は半農半漁なれ共業を以て生活の資料になし居れり元來業は豫作の如く二年に跨り今年岩を打碎き翌の附を好くする機手入をなし置き翌年三四月頃鰊に採收し各市場に出すものなるが從來國有なりし爲め一個人の所有する事を免さず其の以前は宮内府に屬し年々人を派し相當の稅金を徵收しつゝありたるを隆熙二年六月國有所屬に編入せられし以來度支部の所管となり財務署に於て是を競賣し競落人は各村落に轉賣せり斯の如くにして仲間者の私腹を肥し或は宮内府所屬當時種々なる名目の下に浮浪人連に私され貧民は非常なる困難をなし來りたれども今回漁業法施行されたると同時にかゝる弊害は凡て除去され免許漁業として何人たりとも出願者に許可せらるる可きれば從て斯業の發達も推測するに難からざるべし

練習艦隊の編成

海軍兵學校の卒業期は例年十月なりしも規則改訂の結果本年度よりは七月に繰上ぐることゝなり現在の練習艦隊阿蘇、宗谷の二艦は現に深洲方面へ向け遠航中にして同期までには歸航せざれば更に新練習艦隊を編成する必要を生じたるが右は多分裝甲巡洋艦淺間（排水量九千八百八十五噸、速力二十一海里）二等巡洋艦笠置（排水量五千五百三噸、速力二十一、七海里）の二艦を以て組織せらるべし目的航海地點は中米パナマ及び南米沿岸にあるものゝ如く司令官は本人の希望を斟酌せざるべからざる事情あれば未だ決定せずと因みに七月卒業すべき人員は百五十名也。

●日本青年會と其事業

東京なる讀賣新聞社發行日本農業雜誌編輯主任小山田武男、國民新聞記者門田勝彌の兩氏は今回東京市麻布區仲の町六番地に日本青年會を設立し青年の精神的教育の任に當らひとし先づ其の第一歩として月刊雜誌「青年」を三月十日より發行する由なるが「青年」は從來の文學的雜誌若くは成功熱を煽りつゝあるものと全く其撰を異にし新國民に新思想を涵養せしひると同時に現代青年を活動の舞臺に飛躍せしひるに在り卷頭の講演と卷尾の雜錄に至る迄一字をも苟くもせず趣味ある實益ある平易なる倫理書を讀ましひるが間に青年諸子に實利を收めしひるを期し毎號の誌面は新國民の教科書と云ふも過言にあらざる有益なる雜誌にして郵税二錢を添て申込まば其趣旨書を發送すべし

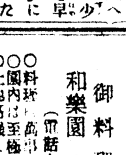
日本銘刀傳

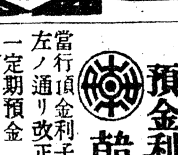
第四十八席　邑井一講演

五「さうか、そりやアまア好い所で遇つた、此處で遇つたのは何より幸ひ、兎に角俺の所で遊んで居ろ　仙「イヤ遊んで居る譯には往きません　五「さう言はないで遊んで居ろ」無理に北野の五郎屋宅に連れて來て、暫らく遊んで居た十三の歳に相成りました故、何時まで遊んで居ても仕方がない、江戸に行かうと、安政四年の春、京と江戸の間の兎角物騒がしき頃、小脇差を打込んで袷一枚に博多の帶、合羽を着して兩掛を拵へて、粟田口まで送られて、日野峠をば越へて仕舞ひ、驛へ來つた山下の松の茶屋、此處で一杯茶を飲んで行かうとすると、多くの馬子が其處に眼張つて居て　○「良い馬やらうか、大津までやらうか　仙「馬ア貰つてもしやうがねわ　○「馬ア貰つてもしやうがないとは何んぢや、大きな誤託を吐きくさるな、此の駄鬼ア乘らねねたつて乘せて行くぞ　仙「大きな御世話だ、二本の足があるから歩行いて行く　○「二本の足があるからつて、餘計なことを言はねねで乘れ　仙「忌だ　○「忌とは言はねねで乘れ　仙「此の奴等ア種々なことを吐しやがる、忌だから忌だと云ふんだ　○「何うでも乘らなけりやア携やアせん、慢の鍵を取つて呉れる」と左右から突如仙吉の懐に手を入れやうとしたゆる　仙「さては汝等は盗賊だな馬鹿にするな」と一刀を引拔いてバット斬込だ、親父の遺傳か、腕前は天晴れ優れた上阪仙吉、馬子の片腕切落し、知らん顔して鼻唄を歌つて、大阪山を越へて大津の宿へ行かうとすると、此れを大津の馬子中に知らしたものと見へて、向ふからワツ〳〵と云ふ聲　○「オイ、此の餓鬼だ」ワーツ、と大勢が取圍んだのを鼻唄を歌つて來た仙吉　仙「ウンそれぢやア、先刻馬子と斬つたのを、遺恨に思ふて、大津中の馬子が寄つて來たんだな、よし〳〵、何んな奴でも持つて來い、死物狂ひに仙吉が暫らくの間自分は江戸に居たが、何時までも居られませんから、五月の中旬江戸を出立いたして、金剛の親分の所へ又行かうと云ふので足に任せて上つて來た東海道、名に負ふ箱根の山越へて、景色勝れた田子の浦邊、往來は少のうございますが、近道せんと足を早めてやつて來ると、遙か向ふに血汐に染みたり一人の武士の妻を見ました

になり住つてはならないから、そこで江戸に立歸り、是れから致しまして東海道を上らうとする……三月三日に伊井浦頭樣が討たれたと云ふ、是れが爲めに迂乎して居て、乘んでもないことの娘のわしいづ、まア家へ來て貰ひませう」と此のわしいづと云ふ女が大津有名の金剛市兵衛の所に連れて參ります、茲に暫らく足を留めることになつたが安政の五年、わしいづと市兵衛の世話を受けて遊んで居たが、もう急々水戸に行かなければならぬ、自分に就ては水戸に參りまして、親父の源之助を尋ねる積りで、大勢に別れを告げて、戻工事畫夜相急居候處急斧斤の聲を收め今回落成致候就は平素の御愛顧に酬んが爲め此際一層設備を完全にし器具を精整して毫も遺憾なきを期し居候間何卒倍舊御引立の程伏して奉希上候敬白

廣告





新築落成御披露
過日祝融の災厄に相罹り候節は御皆々樣方の御壽力を辱ふし大事に至らずして相爆み候段深く御禮申上候爾來新築工事畫夜相急居候處急斧斤の聲を收め今回落成致候就は平素の御愛顧に酬んが爲め此際一層設備を完全にし器具を精整して毫も遺憾なきを期し居候間何卒倍舊御引立の程伏して奉希上候敬白
京城永樂町一丁目
御待合　嬉野
電話一四四四

入院隨意　電話改番　菅醫院
京城西小門通六番地
一三一五

御料理席貸
和樂園　高田家
（電話九三七番）米倉町
○料理は高尚御手輕にして高尚
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會
又は宴會等に適當に候

◎筑前琵琶教授◎
京城旭町四丁目一番地
月友會本部指南　鶴崎賢定
月友會支部教授　東司照子

京城旭町一丁目五四　齒科　齋藤英壽
電話一四一四番

電話一一八二番
人槻商行質部
京城曙町
流質品は勿論も場所の許す限り可成長期間大切に確保し萬遺漏なきを期す
金高の多寡に拘はらず十二分に御便利を圖り迅速御相談に應じ質物は可嘩に取扱ひ極めて安全に一定の場所に保管す

中村耳鼻咽喉眼科院
清國領事館前
入院御意
赤貧者施療
診療自午前九時至午后五時
毎月一日十五日休業

預金利子改正　韓國銀行
當行頂金利子本月二十日ヨリ左ノ通り改正致候
一定期預金　壹ヶ年　年利五分五厘　半ヶ年　同五分
一當座預金　金百圓に付日歩八厘
一特別當座領金　同　日歩一錢
隆熙四年二月

精實を旨とし大勉強仕候也
宮内府御用　博物館
古今美術書畫表裝
金經屏風襖洋式天井張
壽町二丁目
表具　松月堂
電話千〇〇三番

シガー、ブドウ酒、洋菓子、シガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、ブランデイー、果物カン詰類、ケンサン水
卸小賣
歐米酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商
辻屋
本店電話三二四
支店電話三六六

明治四十三年二月廿日 第三種郵便物認可 東京電報 (日�)

東京電報

▲又新會員の脫會

又新會の十一人組本日脫會せり新倶樂部を組織して追て進歩黨に合する筈なり(十八日)

▲大島都督の留任

大島關東都督は諸方面の勸告に依り意留任に決したり(同上)

▲地方長官の召集

平田內相は四月七日頃地方長官を召集し會議を開く筈なり(同上)

▲下院と營業稅案

本日下院に於ける營業稅案委員會に於て政府委員は「料理店は贅澤と意味するより增稅す、十五歲未滿のものも成年者以上の働きをなすを以て課稅す」と實明す政友會は本案に大修正を加へ(物品販賣業の區別は廢止すべし)(十九日)

▲兇漢判決と世論

英米獨の諸新聞紙は伊藤公暗殺者安重根外三名に對する旅順法院の判決は極めて公平なりと日本裁判の神聖を稱揚し韓國に於ける所謂排日を標榜する頑冥者流と雖も之に異議を述ぶる者は非るべしと說けり(同上)

▲對韓政策一決す

對韓政策に關し去る十八日午前十時より桂首相以下各大臣內閣に會合し重要なる會議を開き數時間に亘りて凝議の末事茲に一決せり(十九日至急報)

▲對韓方針の確立

昨日兩院豫算總會に於て桂首相の要求に依り秘密會となし、政府は將來一定不變の確信を以て進行すべき對韓方針確立せりと言明せり(同上)

▲在韓敎員加俸案

政府は本日衆議院へ韓國居留民團立に準ずる指定學校敎員並隱料及加俸案を提出せり(十九日)

北京電報

▲廣東暴動の巨魁

廣東省城に大反亂を惹起したる巨魁は逃走し日本に渡航せりとの說あり清政府は逆黨三名を渡日せしめたり

▲廣東反亂の善後

廣東叛亂者にして死刑に處せられたるもの八十六名に達したり尙袁總督は該事件の善後策に就き中央政府に要求する所ありたり(以上十九日發)

滿韓報

徵稅方針の確定

市場稅徵收の爲め地方に於ける騷擾は順川を第一着とし其運影響は續て鎭市鼎岩浦に及び平安南北道乃至黃海道一帶の人氣頗る險惡なるが爲め當事者に於ても過日來頻りに其進行を急き居れるが許否の決定期は三月下旬迄に從來の慣行に依り漁業を爲しつゝある者は其以後と雖固より出願を爲し得べく右の決定は今日迄願書を提出し居れる者の謂なりと

●博川市場徵稅不穩

博川市場は開市當日徵稅に應せず財務官吏もほとゝ困じ果てたるが此由を傳聞したる定川署にては巡査數名を急派し万一の變に具へ更に徵稅を行ひたるも遂に一厘も徵稅に應せざりし由

瀛笛一聲 (一)

スイロー生

瀛笛一聲南大門を發したのは十二日の朝だ、偶然にも生に同車の光榮を與へたのは宇佐川東拓總裁、嶺同秘書役長高橋副理事官及び韓藥學士のスミスと云ふ英人であつた、永登浦、水原車中の面々なかなか口を開かぬ其狀恰も高麗狗の如しだ秋風嶺に到つてソロソロ倦屈を感じ始めて、モー沈默は守れぬ、高橋君先づ英人を捕へた、ソーして生を捕へた、沈默は茲に破れた、氣焰が吐かれ始めた高橋君道が外交官だ、而し面々は亦々體面を維持して居る。

ドコから乘つたか車中に妙な英語を喋る韓人若夫婦の一組が居つた、彼は ピロードの洋服を着けラッコの帽子を被り、一見伊太利の勞働者の如くあつた、彼は彼自身を生等に紹介して姓は金、職は禮式官だと云つたのみならず彼の父は田舍の大財產家で金山を五つも持つて居ると云つた金の妻は妓生のように見えた、併し自稱禮式官の云ふ所によると彼女は支那の貴婦人だソーだ、二人の中は極端に睦まし〻見えた、吾人刻國は海洲、最早体面を構つて居られぬ。

ドコかの驛で若夫婦が下車した、彼等に對する批評が始まつた、批評が串談に成つた串談が駄洒落になつたソロソロ面白くなつて來た、若い面々は勿論六十六歲の宇佐川總裁も中將と男爵の衣を脫いた、事茲に到りしめたのは韓人若夫婦の賜でありつた

●宣川市場徵稅拒絕

過日開市したる宣川市場にては賣揚總額二千圓に上りれるも財務官吏の徵稅に對しては頑として之に應せず遂に一厘の徵稅をもなし得ざりしと云ふ

●土地證明事務改正

土地家屋證明及奧書執行並所有權證明事務は法部廢止と同時に內部の所管となりたるが其方法に多少改正を要すべき者あり內部は目下之が調査中なりと

●醫譯官補試驗擧行

殆んど採用豫定數の二十倍に達したれ

財務官吏の訓令

市場稅徵收は何分新稅に對し誤解せる頑迷なる商民を對手とする事なれば其の手加減如何によつて不慮の變を惹起しとの電報十八日午後其筋へ到達したる等西韓益々不穩なり

●負擔商取締の急務

人十萬の會員を有すと呼號する負擔商は其組織の起因より推すも政治を意味せざるのみか他商を嗾かして納稅に反對せしめ又地方民を煽動して敢て不穩の言動を傳へ且楊市順川の暴動事件を傳令的に各地方へ向け跨大に宣傳流布する等彼等の行動に就き頗る注目を要すべきものあり此際相當の取締を爲すべきは到下の急務なるべし

●奸商取締と會議所

地方に於ては無賃無產者が徒らに店舗を張りて荷主より物品を取寄せ決濟期に至り踪跡を韜晦する者多りけるが此惡風近來京城に於ても行はれ商業會議所の調査に依れば昨年六七月頃より年末までに京城市內に於て空々たる店舗を張りながら自ら債權者會議を召集する等の奸計を運らす者六十軒餘りに上りて善良なる商人は其爲め迷惑を被る者多く會議所にては近日役員會を開きて之が防禦方法を講ずると云ふ

●日清採木夫の衝突

惠山鎭の對岸支那領長白府にある採木公司には日韓清の採木人夫あり兼々感情の圓滑を缺ぎ兎もすれば小紛爭を釀し衝突の絕間なかりしがこの程又々鶴の事より日人と清人との間に一大紛爭を惹起し双方共暴力に訴へて我意を張らんとしたる爲め多數の負傷者を出したる旨其筋へ電報ありたりと云ふ

●紀念碑建設の請願

嘗に尹進學外四名の有志家發起となりて京城市內に故伊藤公の紀念碑を建設する事に關し當局者へ寄附金募集の件願出で居たるが從來斯かる美名に藉口して寄附金を募り不正の用途に費消し去る者少からざるを以て多分認可を與へられざる事となるべしと云へり

●國有漁基の決定期

水產局に於ては國有漁基の調査に就て其進行を急き居れるが許否の決定期は三月下旬迄に從來の慣行に依り漁業を爲しつゝある者は其以後と雖固より出願を爲し得べく右の決定は今日迄願書を提出し居れる者の謂なりと

●博川市場徵稅不穩

博川市場は開市當日徵稅に應せず財務官吏もほとゝ困じ果てたるが此由を傳聞したる定川署にては巡査數名を急派し万一の變に具へ更に徵稅を行ひたるも遂に一厘も徵稅に應せざりし由

瀛笛一聲 (一)

スイロー生

瀛笛一聲南大門を發したのは十二日の朝だ、偶然にも生に同車の光榮を與へたのは宇佐川東拓總裁、嶺同秘書役長高橋副理事官及び韓藥學士のスミスと云ふ英人であつた、永登浦、水原車中の面々なかなか口を開かぬ其狀恰も高麗狗の如しだ秋風嶺に到つてソロソロ倦屈を感じ始めて、モー沈默は守れぬ、高橋君先づ英人を捕へた、ソーして生を捕へた、沈默は茲に破れた、氣焰が吐かれ始めた高橋君道が外交官だ、而し面々は亦々體面を維持して居る。

ドコから乘つたか車中に妙な英語を喋る韓人若夫婦の一組が居つた、彼は ピロードの洋服を着けラッコの帽子を被り、一見伊太利の勞働者の如くあつた、彼は彼自身を生等に紹介して姓は金、職は禮式官だと云つたのみならず彼の父は田舍の大財產家で金山を五つも持つて居ると云つた金の妻は妓生のように見えた、併し自稱禮式官の云ふ所によると彼女は支那の貴婦人だソーだ、二人の中は極端に睦まし〻見えた、吾人刻國は海洲、最早体面を構つて居られぬ。

ドコかの驛で若夫婦が下車した、彼等に對する批評が始まつた、批評が串談に成つた串談が駄洒落になつたソロソロ面白くなつて來た、若い面々は勿論六十六歲の宇佐川總裁も中將と男爵の衣を脫いた、事茲に到りしめたのは韓人若夫婦の賜でありつた

●宣川市場徵稅拒絕

過日開市したる宣川市場にては賣揚總額二千圓に上りれるも財務官吏の徵稅に對しては頑として之に應せず遂に一厘の徵稅をもなし得ざりしと云ふ

●土地證明事務改正

土地家屋證明及奧書執行並所有權證明事務は法部廢止と同時に內部の所管となりたるが其方法に多少改正を要すべき者あり內部は目下之が調査中なりと

●醫譯官補試驗擧行

殆んど採用豫定數の二十倍に達したれ

徵稅方針の確定

市場稅徵收の爲め地方に於ける騷擾は順川を第一着とし其運影響は續て鎭市鼎岩浦に及び平安南北道乃至黃海道一帶の人氣頗る險惡なるが爲め當事者に於ても過日來頻りに其進行を急き居れるが許否の決定期は三月下旬迄に從來の慣行に依り漁業を爲しつゝある者は其以後と雖固より出願を爲し得べく右の決定は今日迄願書を提出し居れる者の謂なりと

●博川市場徵稅不穩

博川市場は開市當日徵稅に應せず財務官吏もほとゝ困じ果てたるが此由を傳聞したる定川署にては巡査數名を急派し万一の變に具へ更に徵稅を行ひたるも遂に一厘も徵稅に應せざりし由

瀛笛一聲 (一)

スイロー生

瀛笛一聲南大門を發したのは十二日の朝だ、偶然にも生に同車の光榮を與へたのは宇佐川東拓總裁、嶺同秘書役長高橋副理事官及び韓藥學士のスミスと云ふ英人であつた、永登浦、水原車中の面々なかなか口を開かぬ其狀恰も高麗狗の如しだ秋風嶺に到つてソロソロ倦屈を感じ始めて、モー沈默は守れぬ、高橋君先づ英人を捕へた、ソーして生を捕へた、沈默は茲に破れた、氣焰が吐かれ始めた高橋君道が外交官だ、而し面々は亦々體面を維持して居る。

ドコから乘つたか車中に妙な英語を喋る韓人若夫婦の一組が居つた、彼は ピロードの洋服を着けラッコの帽子を被り、一見伊太利の勞働者の如くあつた、彼は彼自身を生等に紹介して姓は金、職は禮式官だと云つたのみならず彼の父は田舍の大財產家で金山を五つも持つて居ると云つた金の妻は妓生のように見えた、併し自稱禮式官の云ふ所によると彼女は支那の貴婦人だソーだ、二人の中は極端に睦まし〻見えた、吾人刻國は海洲、最早体面を構つて居られぬ。

ドコかの驛で若夫婦が下車した、彼等に對する批評が始まつた、批評が串談に成つた串談が駄洒落になつたソロソロ面白くなつて來た、若い面々は勿論六十六歲の宇佐川總裁も中將と男爵の衣を脫いた、事茲に到りしめたのは韓人若夫婦の賜でありつた

●國有漁基の決定期

水產局に於ては國有漁基の調査に就て

財務官吏の訓令

市場稅徵收は何分新稅に對し誤解せる頑迷なる商民を對手とする事なれば其の手加減如何によつて不慮の變を惹起しとの電報十八日午後其筋へ到達したる等西韓益々不穩なり

●負擔商取締の急務

人十萬の會員を有すと呼號する負擔商は其組織の起因より推すも政治を意味せざるのみか他商を嗾かして納稅に反對せしめ又地方民を煽動して敢て不穩の言動を傳へ且楊市順川の暴動事件を傳令的に各地方へ向け跨大に宣傳流布する等彼等の行動に就き頗る注目を要すべきものあり此際相當の取締を爲すべきは到下の急務なるべし

●奸商取締と會議所

地方に於ては無賃無產者が徒らに店舗を張りて荷主より物品を取寄せ決濟期に至り踪跡を韜晦する者多りけるが此惡風近來京城に於ても行はれ商業會議所の調査に依れば昨年六七月頃より年末までに京城市內に於て空々たる店舗を張りながら自ら債權者會議を召集する等の奸計を運らす者六十軒餘りに上りて善良なる商人は其爲め迷惑を被る者多く會議所にては近日役員會を開きて之が防禦方法を講ずると云ふ

●日清採木夫の衝突

惠山鎭の對岸支那領長白府にある採木公司には日韓清の採木人夫あり兼々感情の圓滑を缺ぎ兎もすれば小紛爭を釀し衝突の絕間なかりしがこの程又々鶴の事より日人と清人との間に一大紛爭を惹起し双方共暴力に訴へて我意を張らんとしたる爲め多數の負傷者を出したる旨其筋へ電報ありたりと云ふ

●紀念碑建設の請願

嘗に尹進學外四名の有志家發起となりて京城市內に故伊藤公の紀念碑を建設する事に關し當局者へ寄附金募集の件願出で居たるが從來斯かる美名に藉口して寄附金を募り不正の用途に費消し去る者少からざるを以て多分認可を與へられざる事となるべしと云へり

●國有漁基の決定期

水產局に於ては國有漁基の調査に就て

兇漢判決と韓人

兇漢安重根に對する吾が關東都督府地方法院の判決は世界一般に其公明正大なるを稱賛しつゝあるが此際韓人側の批評如何を窺ふに元來文化の程度甚だ幼稚なる彼等の事なれば批評區々として一顧の價値なきも要するに安に對する死刑は當然免るべからざる宜告なりとし又其他に對する判決は其輕きに驚き居れり韓人一流の推定は古來の習慣上斯かる犯罪は主從を問はず嚴刑に處せらるゝものと思考し居るより法律適用の如何を問はざるものゝ如し而して判決の公正は就れも之を認め居るも唯だ安の希望する辨護人を許せざりしを遺憾と評し居れり

西韓方面の不穩

嘗に一度不穩の報を傳へ兩三日前再度暴民大集して停車場を燒拂ひ日本人を塵殺し財務署を破壞すべし等の流言を傳へたる安州は今日に至るも尙不穩の狀勢に在り流傳蜚語今尙歇まず人心惶々たるものあるが十八日午後七時發の報告に依れば安州市場に於ける徵稅額數圓に過ぎず市場の狀況は表面危險に見えるも遂に一厘も徵稅に應せざりし由

民團事件の其後

京城居留民團醜吏檢擧事件は其後査として聞く處なかりしが當督廳官吏の調査は漸次進捗し既に現金收支の檢査を了し目下徵稅臺帳と切符を照合中なり則ち醜吏の犯行は此內に潛ひ次第なれば特に綿密なる注意を拂ひつゝあるが兎に角存在切符の照合を進行し之を完了せる後更に臺帳を檢して不突合ひ

韓國產出の金額

立私學校廢止訛傳

頃日說をなすものあり政府は各私立學校を廢せんとするの議あり爲に漢城府內各學會は聯合して來二十五日大會を開き右に關する商議を爲すと右は殆政府從來の方針より推して理由なきものと認むるを以て發金學部當局に說き之を問合せたるに果せる哉右は訛傳の甚しきものにして政府に於ては隆熙二年勅令第六十二號を以て私立學校令を頒布し其際學部大臣より訓令したる如く決して同令に依りて私立學校を檢束せんとするものにあらざるのみならず私立學校の完きものは益之を奬勵し弊あるものは之を矯正し提撕誘掖以て其本然の目的を遂げしめんとするは實に同令の精神に在るを以て今更何等の理由なくして突然之を廢せんとするの理なく全く爲に出でたる所あるものゝ浮說流言に過ぎざるを以て學校當局者並に一般人士の斯る浮說に眩惑せられざる樣注意すべしとのことなり

東拓本社の敷地

東拓會社に於ては本社建築の爲め其敷地選定中なるが京城の候補地は値段の折り合はざる爲め目下行悩みの体なるが龍山軍司令部前の敷地も候補地として斂へられつゝあり類りに埋立を急き居れりと云ふ

●月尾橋撤廢問題

仁川月尾橋撤廢問題は經濟會の提案にて其筋に請願書を提出するの運びに至りたるが岩崎經濟會長は十八日龍山なる鐵道管理局を訪問し右に關する打合を爲したるに其筋の意嚮は姿當り現今に於て該橋の撤廢を要せざれば之れを保存すべしと云ふにあるが差し假繕を施したる上利用せんとするの意志か將た他に何等かの寓意あるものゝし如しと

●江原道物產共進會

由來江原道は地勢の關係より他道の遙歩に伴はざるを以て今回實業奬勵の一端として物產品評會を開催することに決せしが期日は十月二十三日より十一月四日迄とし地方費のみにては其の負擔に堪されば農商工部より補助をなし成べく盛んならしむる計畫なりと云ふ

●共進會出品物發送

名古屋、福岡の兩共進會に韓國側よりの出品は全部取纏ひたるに就き一昨十八日兩地に向け發送したるが猶增加すべき分は追送する事とせられたりと

●榊原憲兵隊長出發

憲兵隊長會議に出席の爲め榊原憲兵隊長は約一箇月の豫定にて二十日午前九時南大門發列車にて東上すと云ふ

●山本桃州氏歸朝

派員の同氏は政況視察の爲め二十日午前九時南大門發列車にて東上する筈

●共進會出品

農商工部森主事は今回開催の福岡共進會へ派出せら十九日朝南大門發列車にて福岡に出張

●檜崎桂園氏歸阪

大阪毎日新聞社派員の氏は社用を濟ひ廿二日出發歸阪

●小川課長の出發

名古屋共進會に出張の小川商工課長は廿一日出發の筈

●北沿岸航路の前途

韓國の北海岸一帶は屈曲少く從つて良好なる港灣を有せず巨船大船を泊し得べきは元山他一二に過ぎず其港灣の資格を具へたるは東に蔚山を初長箭灣、元山、新浦、雄基灣等と數ふるのみ目下同所沿海を航する滊船は釜山、雄基灣間を定期航海せる吉田秀次郎氏經營の汽船會社を初とし他商船社外船等にて廿五隻を有す貨物は輸出入共年々長足の進歩をなし居れるが殊に近年間沿岸陸上交通の發展に伴ひ一層出入の增加は劇增するに至れり從前は同沿岸物資の出入は元山を以て主なる集散地とせしが近來船舶往來の頻繁なるに伴ひ集散地は釜山に推移するに至りしが今日を以て今後を豫想すれば近き未來に於て此の焦點は遂に日本に移るに至らん併し京元鐵道にして果して開通するを得ば一時は元山の復榮を見るべきも自然の大勢は如何ともすべからず北面一帶の貨物は直接日本に輸入さるゝは疑を容れざるか如しと某海運業者は語る

▲治外法權▼

一進會長李容九が宋秉畯と會見する爲め釜山へ出張したる事は既に版に組み込んで居り伏せた位ひである▲當局者が一李容九の行動に斯く迄心を使ふのは擧竟李完用式の二の舞ひでも演じては厄介だからと云よのであらふ▲されば吾人も努めて書かぬ事にして居たにも拘はらず、其翌日の京城日報の釜山電報に「李宋兩氏の消息」と題して宋秉畯は馬鹿に李容九は京城に向ふと書いてある所謂其筋の取締と云ふ者はコンナものだ彼れの行動を人に知らしめざらんと欲せば京城に向ふの記事は宜敷くない筈だナンダ馬鹿〻〻しい▲市場稅の徵收は隨分困難で博川、宣川抔は警官迄出張して一文も取り得ず、安州は平壤から湯淺警察部長迄出張して得た稅金が僅かに四圓五十錢こゝ當分は徵稅よりは出張員の旅費の方が大分超過するであらふ▲徵稅と云へば家屋稅の如きも某田舍の小居留地の如きは十數回も官吏が出張して漸く調査が出來たが、先づ十年分の稅金位は調査旅費に入つて居るであらふとのことだ、既分では追々日本人の墨徒が地方に起らねばよいがとは某地十九日朝南大門發列車にて福岡に出張

諸看板製作 油絵肯像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉強請負 赤門通り 永楽町二丁目 櫨野工舎

（第三種郵便物認可）　明治三十三年二月二十日

妖婦松田きよ

▽仲人は淫賣屋の夫婦

▽小使取りに善い書生

本年十月中當地歌舞伎座に中村福圓一座が開演中殆んど毎夜の如く土間に陣取れる三十四五の紳士風の男あり伴れと云へば書生とも見れば見らるゝ二十二の女なるが他所の見る目も憚りなく肝心の芝居は其方除け雨降り揚句の飴の如くベタリベッタリと意茶附いて偖て演劇が終となれば宇に手を取つて四軒町邊りの兎ある官舎に姿を消すが毎夜にして其の書分は何所の誰れとも判らずしが見込んだらば遁さぬ三面子が穿ぐ着心の結果探り出だる所を御披露申さんに男と云は親衛府付の

歩兵曹長

近藤某（三）にして女は長谷川町一丁目染屋方の抱へ酌婦

松田きよ（三）

とこそ判明したり抑も……も少し大袈裟なれど抑も此のきよと云ふは山口縣の生れにして去る三十八年中渡韓し榮山浦を手初めに海州、仁川、釜山を回り〳〵て四十年春京城に來り間もなく

尾關

某と云へる

憲兵

さんと夫婦になり面白可笑しく暮し居たるホンの一年あまり持つて生れた我儘者の規張面な世帶に辛抱出來ずれ定まりの

夫婦別れ

をなし四十二年の二月頃前借なしの自前稼ぎで大和町一丁目の一富士とか云ふ小料理屋へ住込み結局此れが氣樂だはと氣樂がつてる暇もなく當時

京城座

に出勤し居たる男地獄と異名を取つたる

橋本と云ふ馬の脚

に上氣たる果が追々積る借金に間もなく明治町の明治館と云へるへ七十圓の前借にて住替へ其の後も無理な算段して橋本へ注ぎ込みたるにて意殖る借金に居堪らず同年六月三日の夜京城座の樂屋に押し寄せて伴れて逃げて橋本を捉へて伴れて逃げて奥へと

駈落ち

の

居催促

を極たるも元々惚れてる女ではなし橋本が茶にして一向受付けざるのみか「逃げたきゃ一人で逃げるが宜いさ」とカスを食はされたので遣繰管ではなかつた曾のれきよは一時にクワッとなり足袋跣足のまゝ樂屋を駈け出し本町七丁目の

辻井戸

に死ない氣で釣瓶の縄に縋つて

飛び込

んだことのある所謂囚狀持ちの莫連者なるが其の後回り〳〵て前記染屋方に住み込みたるを夫れとは御存しなき歩兵曹長殿が一夜れきよを嬲んだのが病み付きとなり夫れから後と云ふものは一切高部夢中となり二三の同伴が忠告も餘計なこと〻五月蠅がり愛々足繁く通ひ詰むるのみか芝居や書席と伴れ回り更けては已れが官舎に引き込み他の批難も耳に入らざるのみか遂に本月一日と云に

金一百圓

を懷中なし染屋に對するれきよの前借金六十圓を皆濟し殘金四十圓を以て板場子守の末にまで鄙花と撒き散し同家の主人夫婦を仲人に

夫婦

の盃を取り交はし芽出度官宮に引き取りたり天下は茲に泰平で四海波靜かなるべき筈なるに間一日隔てる三日の朝「御免め此家に俺の嘆かれ世話になつて居ます相で……へゝ何うかれ渡し下せゝなやし」と骨羽屋張りの粋な兄いに飛び込まれたるより何許かを掴ませて一札取つて奇麗薩張り手を切らせヤレ安心と思ふ間もなく又々間三日を隔てたる

七日の朝

たからよの郷里山口より

母病氣

との電報とそ舞ひ込んだるにぞ寒てゝは置けずと二週間の豫定にて旅費として金百圓を貰ひ受け

南大門出發

したるは翌八日の朝なりし、さればきよは郷里山口に居るべき筈なるが此の又筈が筈ばかりで御本人のきよは、

壽町の金石旅館に投

宿し切れた筈の本町六丁目の横町邊に口入業を營める粋な兄さんと本氣になつて意茶付き居るのみか知り人に對つては

「近藤

さん程善い人はないのよ妻が永登浦から引き返したことを未だ知らずに居るんだよ

小使取

りには恰然いゝの」と濟し返つて居るとは他人の事ながら腹の立つ次第なりけり

藤公の咽喉を裂く

▽長さ四寸深さ一寸

酒實爾にて兇手に斃れたる伊藤公の遺骸は大連に於て滿鐵醫院長河西外科部長尾見兩博士等の手にて防腐の始末を為し納棺せしものなるが東京に着後夫人以下家族の開棺をも見合はせて葬りたるより檀（？）の說の傳はりけるが今回の狀況は不穩なりとて目下嚴重警戒中なり」前記紛擾の發端は駅川紛擾の譬に過ぎず納棺當時の秘事の現れは公の遺骸の始末方も判明するに至り此偖て公の遺骸の大連に着せしは十月二十七日の夜にしてヤマトホテルの別館奥まりたる一室に運ばれて靜に横はらしめ偖て防腐の一條となりしに前記河西、尾見の兩博士並に生前公に隨行する小山醫師等は遺骸着京の上は必ず夫人以下家族の人々の開棺せらるべくその節公の容貌に懷像の相の現はれ居らんには骨肉の間柄如何ばかり嘆き悲まるべく均しく防腐の術を加ふるからにはとても事に面容を公の世に在る時の如く和平溫柔に保たしめたく、斯くせんには遺骨の咽喉を切開して强度ホルマリン液を注入せねばならぬ左りとて公の遺骸に刀を加ふるとは如何にも忍び難く、殊に小山醫師は終始公の身邊に從ひて最期までも見屆けたる人と慨嘆の涙堪き敢へず切に決せざりしが、彼是する内に時移り早や曉に近づけるより斯くては果てじと兩博士は遺骸に向ひ「御免あれ」と駈寄て飛びて公の左の肩より根より咽喉へ掛け長さ四寸深さ一寸切開して其處より強度のホルマリンを夥だしく全身に注入しつゝ手早く縫ひ合せて然り氣なく取繕ひ、ホット一息吐く折柄、東の窓より一筋の曉氣冷き靈柩の上を過ぎて隣室なる通夜の人々の扉を押開きて假床の下へ跪きたる頃は公の面貌美麗折角の苦心も着京後開棺を見合はされしため空しくなり却つて遺骸防腐の失敗せるが如く傳へらるゝに至りしも亦

平南飯山不穩詳報

▽市場稅撤廢を迫る

去る十三日飯山邑市場不穩の情況ある旨財務署よりの通報に接し江面分遣所長は直ちに上等兵一名補助員四名を率ひ同日午後四時より現場に向ひ取調べたるに其の狀況下の如くにして今尚不穩なり「今回の順川紛擾に鑑み一般商民は同道して十三日午前八時頃財務署に出頭し今回政府は市場稅徵收を廢止せし事を聞知せり依つて後財務署の方針は如何なるや希くは早々免稅すべし若し同稅の徵收を繼續する時は吾人等にも可然考へありと迫べたるを以て威は紛擾を惹起せざるやを憂慮し當局者は將來を重んじ一時之れを慰め市稅は國民の義務たるものに大して若し之れを徵收せざれば國家の衰亡にも大に影響を及ぼす旨懇々說諭せしも一般商民は之れを信ぜず却つて市稅の如き財務署に於て徵收し擅に消費するものゝ如く主唱し居る狀況なりしも遂に說諭に基き一時退散せるも近く昨今の狀況は不穩なりとて目下嚴重警戒中なり」前記紛擾の發端は駅川紛擾の譬に過ぎず納棺當時の秘事の現れは公の遺骸の始末方も判明するに至り此偖て公の遺骸の大連に着せしは十月二十七日の夜にしてヤマトホテルの別館奥まりたる一室に運ばれて靜に横はらしめ偖て防腐の一條となりしに前記河西、尾見の兩博士並に生前公に隨行する小山醫師等は遺骸着京の上は必ず夫人以下家族の人々の開棺せらるべくその節公の容貌に懷像の相の現はれ居らんには骨肉の間柄如何ばかり嘆き悲まるべく均しく防腐の術を加ふるからにはとても事に面容を公の世に在る時の如く和平溫柔に保たしめたく、斯くせんには遺骨の咽喉を切開して强度ホルマリン液を注入せねばならぬ左りとて公の遺骸に刀を加ふるとは如何にも忍び難く、殊に小山醫師は終始公の身邊に從ひて最期までも見屆けたる人と慨嘆の涙堪き敢へず切に決せざりしが、彼是する内に時移り早や曉に近づけるより斯くては果てじと兩博士は遺骸に向ひ「御免あれ」と駈寄て飛びて公の左の肩より根より咽喉へ掛け長さ四寸深さ一寸切開して其處より強度のホルマリンを夥だしく全身に注入しつゝ手早く縫ひ合せて然り氣なく取繕ひ、ホット一息吐く折柄、東の窓より一筋の曉氣冷き靈柩の上を過ぎて隣室なる通夜の人々の扉を押開きて假床の下へ跪きたる頃は公の面貌美麗折角の苦心も着京後開棺を見合はされしため空しくなり却つて遺骸防腐の失敗せるが如く傳へらるゝに至りしも亦

銃獵者狙撃さる

▽頭部に命中して即死

黄海道を出沒しつゝある賊魁李鍋體の卒ひる四十名の賊團は去る十四日以來平山管區の搜索隊に追跡せられ窟窟の餘り却つて平山郡附近に逃れ來り同郡西下面古長洞の松林に潛伏居たるが去る十七日汗浦居住の岡山縣安藝郡新口村字高瀬四木建作（三）なる者銃獵に出かけ同地の河邊に於て該賊團に出會し狙撃せられて即都に貫通銃創を受け即死したれば賊は被害者の所持したる銃を奪取して逃去したるを以て搜索隊は目下追跡中の由なるが從來賊徒は銃を得んが爲め銃獵者を狙ふこと屢次なる故其筋よりは特に注意を與ふるに拘らず概て等閑視する由なれば注意肝要

●一昨夜の敷島　遊郭總客數は僅か

に十八名にして其消費高は五十四圓四十六錢なりしと

●壽座の桃中軒

今二十日同人の獨物は例の義士銘々傳の内、一岡野金右衛門忠僕直助の傳、丸淵田越前守殿主の無念晴し琵琶　二席

●壽座の博多俄

京城に於ける博多仁輪加連は來る二十一、二十二の兩日午後五時より當地壽座に於て獨特の滑稽に京城人士の顧の番を外づさせん計畫なるが其の番組は初日　今輪隨院、盤音機運轉、昔の長者今の有樣、濡手に粟の獨取り、二日目　偽軍人の入營、生佛坊主の掛取り、手向けせんかう場、風の便親子の再會、筑前琵琶二席

▲平民文庫▼

▲櫻井町の海山樣に判任官殿とかの妻君が通勤藝妓をして居ると云ふことを昨日の本欄に紹介したのは藝君御存じの通りである▲所が其の御亭主を統監府の判任官と云ふのは間違ひであるそうな▲投書に依りて見ると此れは○○隊○部の屬員○本君の妻君だ相だ▲序でだから申すが當地の各小料理店に客とられる藝妓……云ふのも如何だが三味線を彈く女が居るが之れは多く御亭主が腰掛でやる證據を出せなら何時でも（風聞子）▲親子と夫婦は無論縁の本部でのこうから、紳を入れるも多少の縁とか、そんなら同じ玄海を渡つて來たのも多少の縁、して見ると同じ日本人に生れたのも前世からの縁と云つて見ると同じ地球に棲ひのもイクラカの縁であるといつて見れば外國に居る犬と私ともイクラカの縁があると云ふ算用ですな一体何處迄行けば限りのあるものでせうか小僧はん（物好生）▲無限さ（小僧）▲私の隣りに居る人は、濡かが下層社會の人だと云つていましたが異實にさうてせう自分に生んだ子を敷の樣にします、そして何故生れたかと云ふ樣な風の事を云ひます亭主は默つているが時々は前はその子が居るから助かつているのだ其子を邦めと云つていますと異實にあの子は不憫だわ（愛兒）▲此の頃の小料理屋の不景氣つたらない可愛想だ（放蕩息子）▲舊正月に入つてから又々薪炭の値が上つた困つたものだとは韓人計りでの話ではないよう何うならんかしら（溫突生）▲京城の石炭商人中には隨分不正なことをして不正の利を貪るものがある一例を上ぐると細砂を混じ水を加へ等して量目を誤魔化し一等炭と號して二等炭を販ます等のこと は朝飯前だ（穀害者）▲龍山京城間の道路は塞いときには凹凸と訴り付くし喉かくなるとズグ〳〵だしと何うにかしなくては困るぢやないか（牡茶牛）▲石拔きとか何とか云つて京城へ來には石が多くて困る僕などは一日に一つや三つ必ず嚙ひよ（一老人）▲ガッ〳〵なさるからでしよう小僧）▲越湯の上り湯と浴槽の湯とが共通になつて居る所があるとは度々聞く所だが其の筋に於ては何等取締りの方法を講ぜられぬ何云ものだよ（への字）

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

二月廿日書正月十日五黃佛滅丙辰滿△一月廿一日愚を施して仇に報はる〻事あり旅行轉住凶人より染言者くは非理の要求にあふあり△二黑　宴會祝儀を拳ぐるは良好其他平穩△三碧　取引賣買貸借上間違起らんとす家畜兒女の事に留意すべし△四綠　新事見合の事提言要求にあひ後に煩累を懷す事あらん△五黃　裁判訴訟鑑判には良好の日なり貸借賭事を禁ず△六白　快旣の日なり大抵吉知人友人のため損害迷惑あり△七赤　相談依頼等對人關係は効果あり色情拘禁の破を戒し△八白　保證世話事を旅行凶家庭若くは近親のため出捐者く痛心あらん△九紫　婚女若くは兒孫の日新事手

●天無隙報（自日十九午後六時至日二十午後六時）

雪後晴

十八日（華氏）　最高溫度　一九、八　最低溫度　四一、五

廣告

京城居留民團告示第一號

當民團區域內ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出產シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學證ニ戶籍謄本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ

京城居留民團民長　古城　菅雪

明治四十三年二月十九日

第七號

公告

金二百圓也　當民團教育基金ヘ寄附

右ハ統監府通信事務官服部正一殿ヨリ令夫人御死去ニ際シ知人ヨリ寄セラレタル香料其ノ他ノ返禮ニ代フル爲メ當民團教育基金トシテ御寄附相成候條此段公告ス

明治四十三年二月十八日

京城居留民團民長　古城　菅雪

明治四十三年二月十九日

京城居留民團告示第一號

當民團區域內ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出產シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學證ニ戶籍謄本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ

京城居留民團民長　古城　菅雪

◉貴族の同情

クラフ洗粉に集る（一其）

本舗は此光榮に對し只管最善を盡して其鴻恩に酬ひひのみ　本舗主人

●小笠原伯爵閣下の談

▲吾輩の家では大の贔負

クラブ洗粉は近年益々聲價を上げたれ、吾輩の家では大の贔負で女子供は皆使つて居る、將來も尙ほ原料の精選に注意し且つ價格も手輕に下層の人に行渡るやうにしたら大成功疑ひなしだ、云々

●佐竹侯爵閣下令夫人の談

▲此上もない福音

西洋の貴族は精良の牛乳で顏を洗つたり牛乳のバッスに浴したり中々化粧に時と費用を要しますが今度クラブ洗粉の樣な結構な者が日本に出來ましたのは婦人の化粧に取て此上もない福音であります、云々

●柳原子爵閣下令夫人の談

▲婦人社會の幸福

日本の婦人は孃時代には好くた化粧をなすが嫁して後は子供の世話や家事の都合で兎角懈り勝ちの傾向がありますが西洋の婦人は嫁して後の方が夫に對する義務たと申てた化粧に意を凝すそうであります斯う云ふ日本の家庭にクラブ洗粉の樣な衞生上美顏上効用のある洗粉の出來ましたのは婦人社會の幸福であります家の召仕などは殊に頭髮を洗ふときにも用ひますが誠に手短で好いと喜んで居ります、云々

●佐竹男爵閣下の談

▲吾輩は大のクラブ洗粉宗だ

男が洗粉などを用ゆると可笑しい樣に思ふが普通でも舶來の高價の石鹼を使つて居るものが多いぢやないか同じ化粧品なる化學應用のクラブ洗粉の方が第一皮膚を刺擊せず頭髮の光澤を好くするので吾輩などは大のクラブ洗粉宗だドン〳〵賣込み給へ、云々

●秋元春朝氏（秋元子爵閣下令息）の談

▲僕は渡英するから携帶す

僕は本月渡英するからクラブ洗粉を携帶して倫敦の舊知を驚かして遣らうと思ふて居る日本で彼の位應用化學の化粧劑を發明したのは國民の誇として可らうと思ふ、云々

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●盛上女中 十五六歳の女子高等官舎上女中見習たし俸給望まず 氏名住所(八)

●店員屋入 十四五歳の者希望者本誠れ日の出町下山商行(電一〇〇七)

●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店(電三四三)

物件部

●貸家 西大門内鳥岡貸館師六番三番屋二軒 並に炊事場付格安に貸したし 所清水方へ

●電話譲渡 又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 貴化堂藥店

●老舗譲渡 本町一丁目目抜の場所多年に就き居抜の儘至急譲渡したし 村 旭町一の六〇

●貸家 南大門外吉野町一丁目建坪三十七間外に長屋蔵もあり滅車電車に近く出入便利希望の方は電話七四番

●貸家 水楽町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名住所

●貸家 日韓未使用紀念煙草 氏名住所(九)

廣告

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

龍山新市街山下町 入院隨意 産科 小兒科 眼科 原醫院

京城壽町三丁目(電話三七八番) 入院隨意 中島醫院 院主醫學得業士 中島貞信

●●●滋養と牛乳●●● 馬車配達 純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

●●●衛生と消毒●●● 入院隨意 内科 外科 小兒病 梅毒淋病 高井醫院 京城壽町三丁目 電話(二一六) 院長 陸軍軍醫正 高井貞治

美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉 (電話六二七番)

出張所設置廣告

今般左記の處へ出張所を設置致候間此段廣告仕候也

上木建築請負業 京城南山下町一丁目 須々木本店 (龍山電話一〇八番)

諸官衙御用達 京城南大門通り三丁目 須々木出張所 (電話四二四番)

齒科治療 ドクトル 本町六丁目 中村安子 (敷そば横町)電話一五八三番

世界第一活動寫眞館

◎本館新築落成に付二月十八日(韓國隆熙四年陰暦正月九日)を以て開館す

◎一月二十日午後六時より年中無休にて一般看客の觀覽に供す

◎本館の寫眞は佛國パテー會社の最新器械を使用し毎週輸入する世界各國にて最も壯觀を極むる山水の風景人事の現象は勿論、滑稽、奇術及び世界有名の總ゆる珍事を映寫するを以て一般の活動寫眞界にては斷じて企及し能はざるを明言す

◎本館は寫眞の外に日本美人の花の如き電氣踊を鳴物入にて演じ且つ韓國妓生の舞踏をも加ふるを以て錦上花を添ふるの觀あるべし

◎本館の建築宏壯にして内部の完全せる、裝飾の美麗なる、待遇の懇篤なる、衛生設備の整然たる、摸範的演藝館として一般に誇る所なり

◎本館の擅任技師は青森縣人中村初太郎にして活動寫眞業の本邦創業以來吉澤商店及びパテー會社に技師兼教授として精巧老練の技術を有し斯界に鈍々の評あり其映寫の巧妙なるは本館の誇りとする所也

◎高尚にして優美なる活動寫眞は活きたる教育にして又家庭の娯樂としても之に優るものなかるべし尚開館後は陸續御來觀の程偏に希望に堪へず候

入場料 四等 金拾錢 三等 金貳拾錢 二等 金參拾錢 一等 金五拾錢 特等席 金壹圓

毎日午後六時開館

京城高等演藝館 京城黃金町(農商工部通)

資本金 一千萬圓 積立金 五百四十萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區大阪、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

統監府裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○裁判半截形●定價金六十錢

右發賣爲報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の神速文に接し感謝の至りに堪へず就ては猶一層新發奮致し大目を協約官報等の裁判所警察署監獄署の八項に增加し本月一日より其他諸給與、任用、裁判所規程等の現行法規を附して見出に易からしめ、然る其他の遺漏なきは勿論索引を存し臨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微意を致さんとす依て本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可申此際紙々御用方仰せ付られ度本願上候敬具

◎印刷鮮明 ◎類集整齊 ◎校正最密 ◎携帶便利

石川高等法院判事 校閲 今村内部警務局警視 校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

明治四十二年十二月一日 京城 日韓印刷株式會社出版部

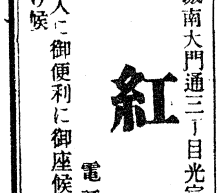
●唐津石炭 並二平壤無煙炭あり 京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店 電話八百三十五番

世界一の藥 全國藥店に於て賣捌 蛇印 アンチピリン丸 ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり 藥價一五錢・十錢・十五錢・廿五錢 弘報大阪心斎橋三丁目 丹平商會 本舗 東京日本橋區濱町 丹平商會

御待合 位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切に御手輕を專一と心懸け候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス) 京城旭町一丁目六十七番戸 辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

京城南大門通三丁目光宣門側 紅葉 電話一三八二番



外科 内科 梅毒淋病專門 戸田病院 ●入院隨意 ●電話番號九三八番

京城相生町(南門通横) 神戸資生分院 京城梅毒病院 ◎花柳病專門並痔(注射療法)(電話一二九四) ●入院隨意 ●京城御成町南大門外一丁南 院長 醫學得業士 田辺平

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館 (電話一一一五番)

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島尊藏 (電話四百十三番)

胃腸消化新劑 散粉 ギヤスタリン 消化蛋白脂 ギグスチン 消化膠 錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)一圓 錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢

右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲噴々たる世界無比の理想的絶品にして所謂實藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥 韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

萬 大 M 特約販賣 味噌漬物醬油卸問屋 京城本町五丁目 大上商店 (電話一一五一番)

自製 和洋酒、醸造酢、穀物麺類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

京城本町二丁目 上等石炭各種 並に無煙炭販賣 林田交換所 電話六十五番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候 資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾五萬圓 京城南大門通 株式會社十八銀行 京城支店 (電話四二〇)

本店 長崎市築町 支店 京城、龍山、釜山、元山、羅州、群山 出張所 大阪、京都、仁川、木浦 日本 佐世保、鎮海、五島、壹岐、其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

韓國 銀行一般業務精々御便利に取扱可申候 資本金 百萬圓 積立及繰越金 參拾萬圓 京城南大門通 株式會社百三十銀行 京城本町二丁目五十八番 電話 韓國支店

★株式會社百三十銀行 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先 畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、本渕、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野 東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、宇治、長濱、大垣、岐阜、蒲郡、大津、長濱、大垣、岐阜、蒲郡、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、蒲郡、伊勢、秋田、能代、七尾、高岡、富山、松本、新潟、敦賀、福井、敦賀、福井、金澤、小濱、福井、敦賀、福井、金澤、大聖寺、宮津、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、山陰道 鶴野、姫路、西大寺、岡山、高梁、玉島、藤山、鶴、府中、尾の道、三原、廣、島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、南海道 和歌山、串本、御坊、岩見、岡山、新宮、尾鷲、熊野、本、撫養、德島、善通寺、丸亀、高松、八幡、濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱、西海道 久留米、若津、博多、福岡、飯塚、直方、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、門司、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、北海道 函館、小樽、札幌、臺北、淡南、台灣 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、清韓國 本浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山、銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 電話十番 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店 貨物及船客取扱店

●釜山 長崎、門司、神戸行 ●大連、太沽半壯行 高丸 三月十二日後三時出 砂丸 三月十九日正午時出 ●大連、太沽行 山東丸 三月 二日午前六時出 ●大連太沽行 酒田丸 三月 五日正午時出 ●釜山仁川、清津、浦鹽行 立山丸 元山、清津行 三月 九日午後時出

御乘船ノ際ハ稅關波止場ニテ御受取可申候 注意 迎船ニテ御送迎可申候 本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事

日本郵船株式會社 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店 貨物及船客取扱店

●釜山 長崎、門司、神戸行 ●大連、太沽半壯行 高丸 三月十二日後三時出 ●大連、太沽行 山東丸 三月十九日正午時出 ●大連太沽行 酒田丸 三月 五日正午時出 ●釜山仁川、清津、浦鹽行 立山丸 元山、清津行 三月 九日午後時出

御乘船ノ際ハ稅關波止場ニテ御受取可申候 注意 迎船ニテ御送迎可申候 本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事